

総会次第 (1300～1450)

- 1 開式の辞
- 2 国歌及び隊友会歌の斉唱
- 3 物故会員及び熊本地震災害犠牲者に対する黙祷
- 4 表彰
- 5 会長挨拶
- 6 議長選出
- 7 資格審査(議決権の行使)
- 8 議事
 - 第1号議案 平成28年度事業報告(審議)
 - 第2号議案 平成28年度決算報告(審議)
 - 第3号議案 平成28年度監査報告(審議)
 - 第4号議案 平成29年度事業計画(報告)
 - 第5号議案 平成29年度予算計画(報告)
 - 第6号議案 規則の一部改正(審議)
 - 第7号議案 役員改選(報告・新役員紹介)
- 9 その他連絡事項
- 10 閉会の辞

防衛講話 (1500～1545)

講師 第12普通科連隊長兼国分駐屯地司令
一等陸佐 根本 正之 様
演題 「第一線部隊の現状」

懇親会次第 (1600～1800)

- 1 開宴の言葉
- 2 会長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 祝電披露
- 6 乾杯
- 7 懇親の宴
- 8 万歳三唱
- 9 閉宴の言葉

平成29年度表彰受賞者名簿

1. 鹿児島県隊友会長表彰

(1) 支部の部

知名支部

(2) 個人の部

ア 鹿児島地区協議会	上木 康熙 殿	松久保 貞三 殿
イ 国分支部	川井田 誠 殿	曾山 光治 殿
ウ 薩摩川内支部	吉村 利招 殿	井上 義之 殿
エ 隼人支部	禰 永光 殿	原田 一信 殿
オ 始良支部	野口 信夫 殿	
カ 南さつま支部	西田 兵三 殿	
キ 伊集院支部	木原 国弘 殿	
ク 加治木支部	大脇 武二 殿	
ケ 鹿屋(陸空)支部	神田 秋男 殿	
コ 徳之島支部	東江 輝芳 殿	作下 義久 殿

2. 本部隊友会長表彰 (上申中)

(1) 個人の部

宇田 四郎 殿 (金峰支部) 東 義雄 殿 (伊集院支部)
矢野 大二 殿 (始良支部)

(2) 個人の部(80歳以上)

田原 一雄 殿 (鹿児島地協)

平成28年度予備自衛官退官者名簿

平成28年度は鹿児島県隊友会員13名が予備自衛官の勤務を全うされ任期満了により退職されました。退職された方々に敬意を表し益々のご健勝と隊友会員として更なるご活躍をお祈り致します。

[陸上]

宮内 広義 様 (鹿地協南支部)	宮路 正人 様 (鹿地協郡山支部)
山口 貴志 様 (鹿地協西支部)	志々目 智 様 (知覧支部)
松下 又生 様 (出水支部)	木佐木 豊巳 様 (国分支部)
栄 勇 様 (国分支部)	田村 吉章 様 (国分支部)
田ノ上 琢朗 様 (隼人支部)	藤田 良人 様 (隼人支部)
倉ヶ崎 敏治 様 (大崎支部)	平田 英助 様 (徳之島支部)

[航空]

上笹貫 昭一 様 (鹿地協南支部)

※ その他、県隊友会員でない県内の予備自衛官退職者が14名おられました。

歡 迎

平成28年度新入会員名簿

1	本部個人直送地区会員	川崎 優一	陸	39	国分支部	大木 洋一	陸
2		田口 道洋	陸	40		杉山 弘二	陸
3		大當 光憲	陸	41		岩満 政広	陸
4		大川内 義郎	陸	42		平 真樹	陸
5		八木 貞明	陸	43		高橋 伸広	陸
6		梶 大智	陸	44		孝徳 英昭	陸
7		前田 良徳	陸	45		吉永 光弘	陸
8		武田 行治	陸	46		竹之内 宏治	陸
9		永田 洋志	海	47		高吉 澄孝	陸
10		西村 伸一	海	48		米山 清	陸
11		神崎 一斎	海	49		荊原 知己	陸
12		杉山 裕己	空	50		木下 博明	陸
13	中央支部	益口 和木	陸	51	隼人支部	田上 益夫	陸
14		川崎 明美	陸	52		甲斐 和夫	陸
15		野元 澄夫	陸	53		山口 和男	陸
16		梶原 奨平	空	54		栗之丸 一也	陸
17	東支部	梶 広文	陸	55	隼人支部	向井 久男	陸
18		安田 明生	陸	56		齒田 素直	陸
19		小園 敏昭	陸	57		前野 昌彦	陸
20	西支部	門松 保彰	陸	58	隼人支部	下小牧 瑞行	陸
21		山下 孝	海	59		西加 光孝	陸
22		榊田 隆昭	空	60		新吉 一孝	陸
23	南支部	中菌 晃一	陸	61	始良支部	平田 光一	陸
24		宮野 睦久	空	62		中園 庄二	陸
25		川内 新一郎	陸	63		吉牟田 章	陸
26	松元支部	若松 修平	海	64	京田 治美	陸	
27	喜入支部	高木 進	空	65	小倉 勝治	海	
28	指宿支部	孝野 昌廣	陸	66	加治木支部	満塩 照秋	陸
29		吉田 明	海	67		畠吉 輝明	陸
30	知覧支部	島中 正美	陸	68	大崎支部	八品 四郎	海
31		川床 雄二	海	69	錦江支部	繁島 正和	陸
32	薩摩川内支部	阿南 哲也	陸	70	中種子支部	古市 薫	
33		富森 英樹	陸	71	瀬戸内支部	野口 高光	
34		神尾 貞彦	海	72		森 義和	
35	入来支部	福島 憲佑	陸				
36	さつま支部	上之原 稔					
37		仮屋 努					
38		木場 崇					

平成28年度物故会員名簿 (敬称略)

謹んでご冥福をお祈りします 合掌

番号	氏名	支部等	出身	逝去年月日	享年
1	佐土原 一郎	国分	陸	H28年4月18日	90歳
2	米満 和友	鹿地協東	陸	H28年5月11日	90歳
3	盛満 利廣	鹿地協郡山	陸	H28年6月5日	79歳
4	和志武 正博	隼人	陸	H28年6月12日	86歳
5	高目 昭行	国分	陸	H28年8月3日	83歳
6	坂下 茂	鹿地協東	陸	H28年8月11日	84歳
7	前田 太	国分	陸	H28年8月12日	89歳
8	前原 幸一	国分	陸	H28年8月3日	82歳
9	白澤 嘉則	国分	陸	H28年10月1日	80歳
10	山田 実	知名	陸	H28年9月 日	80歳
11	小園 新一	始良	陸	H28年11月3日	60歳
12	山下 重雄	さつま	陸	H28年11月14日	70歳
13	下世 英俊	垂水	陸	H28年11月24日	60歳
14	餘慶 貞雄	国分	陸	H28年11月28日	84歳
15	増田 三紀夫	鹿屋	海	H28年11月22日	75歳
16	崎村 久	国分	陸	H29年1月20日	91歳
17	前田 小次郎	瀬戸内	陸	H29年1月5日	62歳
18	諏訪原 益夫	国分	陸	H29年1月28日	85歳
19	小嶋 英雅	国分	陸	H29年2月18日	86歳
20	中間 静雄	鹿地協南	陸	H29年2月26日	85歳
21	阿多石 卓	国分	陸	H29年3月4日	84歳
22	一村 三男	国分	陸	H28年7月30日	88歳
23	井上 吉郎	志布志	陸	H28年 月 日	76歳
24	野芝 辰雄	志布志	空	H28年 月 日	65歳

平成28年度事業成果報告

1 全般

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動ならびに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業、及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、合わせて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。の方針のもと会長を核心とした各グループの各事業への積極的な取り組みと、県・支部・会員の一体的な活動により所期の成果を収めた。

ただし、会勢拡大施策は、県全体としては、即日入会会員の減少や退会会員（逝去会員を含む。）も多く会勢の増大は出来なかった。

この中にあって鹿児島地区協議会は久しぶりの増勢となったことは特筆できる。今後各支部の特性に応じ更なる日常活動の充実により会勢の拡大と充実が重要と思われる。

2 主要事業の成果

(1) 総務・組織

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 会員の増勢

駐屯地・基地への会勢拡大施策と連携し、部隊行事、部隊長等懇談会等を活用した隊友会制度の周知・理解の促進による即日入会者増に努めるとともに、各支部及び予備自衛官部会・女性部会活動を通じ、未加入OBの勧誘を図り会勢の拡大に努めた。

平成28年度正会員入会者数 72名

内訳 陸：60名、海：7名、空：5名

即日入会者：44名、新規・再入会者等：28名

(イ) 会員名簿の整理

定期的に即日入会者情報の入手に努め、会員名簿の更新による会勢の最新状況の把握及び議決権行使事務の円滑化に努めた。

(ウ) 家族会員の増勢

本年度新入会者数：8名（鹿地協 1名、伊集院支部 3名、国分支部 4名）

28年度末会員数：103名(108名)（鹿地協23(22)、伊集院3(0)、薩摩川内18(18)、国分52(49)、隼人7(12)、入来0(5)、瀬戸内0(2)

※（ ）：27年度末会員数

増勢支部が3個支部であったが、減少支部及び逝去を含む退会者が多くなり27年度と比し5名減少した。引き続き全支部加入率10%(正会員比)を次年度も追求したい。

(エ) 予備自衛官部会・女性部会との連携・支援

予備自衛官部会は予備自衛官招集訓練時、女性部会は定期総会等への個別の呼びかけ等により一同に会する機会を作り、懇親・意見交換等の活動の足がかりを作る等会活動活性化の支援に努めた。

(オ) 特別会員(一般)の増勢

各支部等に努力して頂いているところであるが、引き続き地域社会の理解と協力を得るために増勢に努めていきたい。

(カ) 会員の定着率向上

新施策の「パートナー制度」について、各支部の特性に応じた活動の推進を御願いし、入会1年未満の退会抑制と定着率の向上を御願いしているところであるが、未だ暗中模索の状態であり、引き続き成功例の把握と普及に努めていきたい。

(活動及び成功一例紹介)

○ パートナー制度の成果について(鹿児島地区協議会)

中央支部では、適任者(部隊歴、駐屯地等を考慮)を指定し、地区協議会規則・会員名簿(会計担当から受領)をもって会員宅を訪問面談し規則・名簿を手渡し説明し、その結果を記録保管(記録保管していない支部有り。)して、指導の参考としている。

今年度は平成15年度以降減少に歯止めがかかり初めて8名増加した。

※ 本施策前まで毎年減少していたのが増加に転じたのは、少なくとも本施策の影響があったと考えざるを得ない、会員247名(前年度末)から今年度末(2月26日現在)で255名、入会14名、退会6名(3名死去含む)退会者6名中、5名終身会員

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部の結成促進

各地域の自発性を尊重しつつ新支部等の結成及び空白地域会員の既存近隣支部への編入等の情報収集及び調整を進めたところであるが、本年度の新結成は無かった。引き続き、奄美地区新設部隊配置を見据えた奄美地区の活性化及び新支部結成の気運がうかがえる地区を重視していきたい。

(イ) 役員後継者の育成・登用

現職時代の階級意識の払拭を図り、真に熱意と実行力のある曹友会長、前任上級曹長(伍長)経験者登用の啓蒙を図った。引き続き重視していきたい。

ウ 会務運営の効率化

(ア) 平成28年度定期総会成果

定期総会を5月22日(日)に総会、防衛講話及び懇親会の3部構成でジェイドガーデンパレスで実施し、会長指示に基づく詳細かつ綿密な準備と各所掌役員及び鹿児島地区協議会の真摯かつ献身的な取り組みにより整齐と進めることができた。

総会は正会員119名(議決権行使74.6%)、防衛講話(講師：第1航空群司令)は139名(来賓20名を含む。)及び懇親会は151名(来賓32名を含む。)の出席を得、それぞれ所期の目的を達成するとともに所望の成果を得ることができた。

(イ) 議決権の行使

平成28年度の議決権行使は74.6%(26年度72.5%)であった。

(ウ) IT化の推進

IT機器の効果的な運用を図るため、会員のメールアドレス登録の呼びかけにより、会員相互のアクセスの拡大を図り、会員の参画意識を促すとともに、情報の迅速な伝達及びホームページの最新状況の更新に努め、会員の情報共有の手段として定着しつつある。引き続き支部等からの情報提供を頂きながら掲載内容の充実・更新を図る。

(エ) 規則類の見直し

本年度は、本部会員規則第10条(会費の納入)の改正に伴う県規則第8条(会費)の見直し・改正を図った。次年度は、改正条項の周知徹底を図るとともに、本部の定款・規則類の見直し及び会員の改正意見による見直し・改正を適宜行っていきたい。

(2) 市民・防衛・広報

ア 防衛意識の高揚

(ア) 5月22日定期総会時、講師：第1航空群司令市田海将補により「海上自衛隊航空部隊の役割」と題し、防衛講話を実施

(イ) 7月13日瀬戸内支部は、鹿児島地方協力本部広報企画室に依頼し、「熊本震災における自衛隊の活動等及び奄美への自衛隊配備の概要について」勉強会を実施。

(ウ) 10月22日(土)鹿児島市勤労者交流センターにおいて、前西部方面総監番匠幸一郎氏を講師に招き県民約300名の参加を得て、平成28年度安全保障フォーラム in 鹿児島を隊友会、郷友会、父兄会の三団体の共催で開催した。

(エ) 九州・沖縄ブロック研修会

11月26日(土)～27日(日)九州沖縄ブロック研修会沖縄大会(約260名の参加。)に県から村山会長以下30名が参加した。研修会においては、テーマ「隊友会の防災ボランティア活動の取り組み(現状・問題点・見直し等)」について福岡県福会長発表後、村山会長が鹿児島県の防災ボランティアの現状について紹介した。防衛講話は、航空自衛隊南西航空混成団司令 空将 荒木淳一氏が「南西域の情勢と南混団の活躍等について」実施。現地研修は、那覇駐屯地にて、陸将補原田智総第15旅団長から旅団概要説明受け後に沖縄戦史模型見学、平和祈念公園(摩文仁)、空自与座分屯基地及び海軍豪を見学した。

H29年度九州・沖縄ブロック研修会：佐賀県隊友会担任 11月4日(土)～5日(日)佐賀市で開催予定。

イ 自衛隊および地方公共団体の防災・国民保護施策等に対する協力

(ア) 隊友会自衛隊情報ネットワークの維持拡充

第12普通科連隊との合意書に基づく情報提供者を拡充すべく各支部から情報収集に努めた。また第8師団の情報ネットワークとの整合は、次年度の課題であると認識している。

(イ) 国民保護法事態及び大規模災害発生時における自治体との協力協定

始良支部が始良市と5月27日及び隼人支部が霧島市と11月16日、災害時における応援協定締結。

薩摩川内支部、いちき串木野支部及び知名支部が協定・締結検討中

(ウ) 各市町村役場への防災担当官(危機管理官)のOB配置

地方協力本部と一体となり、本施策を積極的に推進した結果、年度当初に曾於市、次いで始良市ならびに肝付町にOB配置が実現(29年4月)した。

(エ) 自治体等の行う総合防災訓練等への参加

a 9月2日鹿児島県総合防災訓練(日置市)に、会長以下13名(県本部役員及び伊集院支部)が参加し、次のとおり活動した。

・県本部役員は、合同現地災害対策本部にて、災害発生状況をパソコンへの表示支援及び本部内の各器材配置や災害対策本部長に対する報告要領等について、参加団体関係者に説明するなど準備段階業務を支援

・伊集院支部は、訓練展示会場（東市来総合運動公園グラウンド）にて、参加団体車両の進入等の誘導統制業務を支援。

b 12月20日桜島火山爆発総合防災訓練(図上)に会長以下12名参加し、次のとおり活動した。

(a) 訓練の評価に関する事項(チェックリストによる各機関の評価)

(b) 状況付与及び状況付与後の対応

c 2月2日鹿児島県国民保護共同実動訓練に会長以下17名参加し、次のとおり活動した。

(a) 本部における状況付与等の担当支援

(b) 避難所運営支援

(c) 避難住民としてのエキストラ支援

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

(ア) 県内公益目的事業の推進

青少年の健全育成、公園、慰霊碑・戦没者墓地等の清掃、各種慰霊祭へ参加した。

・山田凱旋門(慰霊碑群)清掃(始良支部):4月23日

・鹿屋市花崗公園慰霊碑清掃(鹿屋(陸空)支部);5月26日

・錦江湾クリーンアップ作戦(国分・始良・加治木支部):7月2日

・慰霊塔及び供養塔清掃(瀬戸内支部):7月31日

・旧始良町戦没者慰霊塔清掃(始良支部):8月6日

・さつま町内全忠霊塔の清掃・整備(さつま支部):8月7日

・いちき串木野市総合防災訓練(いちき串木野支部):11月13日

・始良・伊佐地区災害ボランティアセンター訓練(始良支部・加治木支部):12月2日

(イ) 「東日本大震災復興お助け隊」への参加

公益目的事業達成のため、同お助け隊への参加を促進した。

(ウ) 熊本地震災害ボランティアへの参加

熊本県隊友会の要請に基づき、宇城市地区の災害復旧ボランティアに村山会長以下7名が参加した。

※ 細部は県隊友会ホームページ参照

エ 憲法改正活動

県民運動(美しい日本の憲法をつくる鹿児島県民の会)への参加及び各事業を通じて改正活動継続に努めた。

憲法改正署名活動については、3回に亘る県本部からの督促もあり、5,535名(目標の43.2%)の署名を獲得した

オ 広報活動

県隊友会のホームページを毎月更新充実するとともに、隊友新聞に積極的に投稿するとともに広報紙「隊友さつま」を年4回発刊した

38号(28.7.15)・39号(10月15日)・40号(1月15日)、41号(4月15日予定)

(3) 部隊・協力諸団体・親睦

ア 部隊等支援

(ア) 演習訓練・行事・国際貢献活動・災害派遣等の協力支援

a 海自鹿屋基地海賊対処行動派遣航空隊出国行事(7/27)、帰国行事(8/12)

会長、地元・近傍支部会員等が参加し、PKO基金からの激励品を手渡し激励・歓迎

b 川内駐屯地 2名の陸上要員の出国行事 (29. 1.15・都城駐屯地)

会長・薩摩川内支部長参加激励

c 第12普通科連隊の米国での米陸軍との実動訓練(雷神)出陣式(8/30)

会長、地元・近傍支部会員等が参加し激励品を手渡し激励

d 第12普通科連隊2中隊の隊区内行進訓練(9/7~8)

さつま支部及び地元自衛隊協力者の参加を得て、慰問激励

e 第12普通科連隊4中隊の隊区内行進訓練(3/28)

始良支部及び地元自衛隊協力者の参加を得て、慰問激励

f 熊本地震被災支援激励

第12普通科連隊、第8施設大隊

g 海自いずも(鹿兒島)・掃海艇(志布志)・ミサイル艇(加治木)・南極観測船(志布志)入港歓迎

(イ) その他の自衛隊活動支援

a 鹿屋基地(4/29延期⇒12/1)、川内駐屯地(9/4台風中止、9/23観月会)、国分駐屯地(11/13)の創立記念行事への参加及び新隊員入隊式、修了式並びに成人式等の各種行事への参加

b 自衛隊鹿兒島地方協力本部の募集・援護活動支援

鹿兒島地方協力本部募集援護出陣式: 3グループ長(会長代理)参加激励

地域募集事務所との募集援護会同: 鹿兒島地区協議会、国分支部

支部総会への地域募集事務所要員招致: 国分支部、隼人支部、始良支部

c スポーツ・武道大会活動支援

第12普通科連隊全自能美大会優勝・全自柔道大会優勝・師団武道大会総合優勝祝勝会に参加・激励

(ウ) 部隊等との交流の拡充

a 意見交換会

鹿兒島地方協力本部(4/21)、国分駐屯地第12普通科連隊(11/18)、川内駐屯地第8施設大隊(2/20)、鹿屋航空基地(3/9)との意見交換会を実施し、隊友会活動の説明、退職隊員の隊友会への入会促進を図った。

b 新着任川内駐屯地司令を表敬(8/5)し隊友会の活動等説明

c 賛助会員に対し、各駐屯地・基地内の厚生センターに設置してある「隊友会PRコーナー」を活用して隊友会活動の現況等を広報

イ 予備自衛官等の支援

(ア) 地方協力本部・援護課と密接に連携し、国分駐屯地7回、川内駐屯地2回、地本3回の招集訓練において、体力検定・射撃訓練優秀者への記念品提供、並びに参加者全員に対する記念タオル配布を実施するとともに、懇談会の機会に隊友会活動の説明等を実施した。鹿屋基地での海上要員の招集訓練参加者、即応予備自衛官要員への支援・激励については、激励の場を設定できず、地本との連携等協力支援要領を検討する必要がある。

(イ) 保険会社の協力を得て、招集訓練等の機会を捉え、隊友会団体生命保険等の説明を実施し、予備自衛官福祉支援制度の普及を図った。この活動が入会の機会にもなっている。

ウ 自衛隊殉職者及び戦没者等の慰霊顕彰・援助

(ア) 殉職者慰霊

a 鹿児島県隊友会主催 殉職自衛隊員追悼式・慰霊祭 (10/8 護国神社)

地方協力本部の支援・協力を受け、地方協力本部長・各駐屯地・基地の司令・部隊長)ならびに遺族、鹿児島地区協議会等から参加、県出身殉職者に対し厳かに弔意を表した。

b 鹿児島県自衛隊殉職隊員合祀祭 (3/25 護国神社)

地方協力本部ならびに遺族会の支援協力を受け、新たに3名の合祀を執り行った。

c 各駐屯地・基地 (健軍を含む。)で行われた追悼式に会長等が参加した。

(イ) 戦没者慰霊

万世特攻慰霊碑慰霊祭、国分特攻戦没者慰霊祭、出水特攻慰霊祭、知覧特攻基地戦没者慰霊祭、沖縄戦没者慰霊祭、護国神社戦没者に感謝する集り、護国神社春季大祭・大東亜戦争戦没者慰霊祭、県主催鹿児島県戦没者追悼式、比島戦没者慰霊祭、鹿児島戦没者墓地慰霊祭等に会長等が参加するとともに、各支部単位で地域の慰霊碑等の清掃活動の実施及び慰霊祭等に参加した。

エ 防衛協力諸団体等との連携

(ア) 東郷元帥記念祭 (5/15):会長以下参加及び行事支援

(イ) 県防衛協会主催の防衛協力諸団体合同賀詞交換会 (1/29) に会長以下多数の会員が参加

(ウ) 鹿児島県父兄会 (自衛隊家族会) ・郷友会・水交會・偕行会主催の各種行事に会長等が参加し、防衛協力諸団体との親睦を図った。

オ 親睦・福祉厚生

(ア) ディフェンスさつまゴルフ大会への参加 (10/1 市比野、川内地区担当) 46名参加

(イ) グラウンドゴルフ大会 (11/23 吉野公園 鹿児島地区協議会担当)

39個チーム、193名が参加

成績 優勝:薩摩川内支部Cチーム、準優勝:国分支部Hチーム、第3位:鹿児島Eチーム

(ウ) 囲碁大会 (2/12 霧島市国分総合福祉センター、国分支部担当・隼人支部支援)

隼人支部、地元老人クラブの協力も得て第7回大会を開催し、44名が参加、和気藹々の中、熱戦を繰り広げた。本年は地元ケーブルテレビの取材を受けた。

成績 4段以上の部 優勝:木下 俊郎(一般) 準優勝:横手 修(隼人支部)

3段以下の部 優勝:下池 滉(国分支部) 準優勝:吉田 豊昭(国分支部)

(エ) 支部総会参加及び支部を訪問・懇談

総会参加: 国分・隼人支部合同総会、名瀬支部(奄美支部連合会 50周年記念)鹿児島地区協議会総会

支部訪問・懇談: 隼人、知覧、枕崎、鹿屋(陸空)、垂水、大崎、志布志、入来、樋脇、奄美地区(名瀬、瀬戸内)

(オ) 福祉事業(遺族支援及び災害被災見舞)

逝去会員20名(特別会員家族1名、賛助会員1名を含む。)への弔電・香典、葬儀参列

カ その他支部等支援

各支部等職を、5個支部(新規2個支部、更新2個支部及び本部)に作成配布した。

(4) 財務・事務局・監事

ア 本部への報告及び事業参加

定期及び随時報告を示された期日までの送付努力に務めたが一部報告が遅れた。

尚、各支部からの報告に基づき、ボランティア保険手続き及び公益事業実施前報告書を送付した。

イ 各事業担任業務

総会招待者案内等、各会議準備(資料作成等を含む。)を各支部及び各グループの支援を得て整齊と行った。

ウ 熊本地震義援金募金

本部要請に基づき募金活動を実施し、1,405,000円の募金協力を得た。

(東日本大震災義援金額:1,320,500円)

別紙第1 熊本地震義援金募集状況

エ 予算の執行実績

年度事業予算計画に基づき、適正・効率的に運用するとともに、会計事務についても隊友会会計処理規定に基づき適正に実施した。

オ 収益事業等

(ア) 焼酎天の輝き「隊友」、「鯉一番せんじ」の販売

新聞「隊友さつま」への広告掲載、広告紙を新聞折り込配布する等して、販売成果向上を図った。

(イ) 「自販機設置場所の情報提供

情報提供 × 1件 (国分支部)・・・設置場所確認後不採用(人通り調査結果による)

(ウ) 隊友さつま広告掲載及び広告紙頒布依頼企業開拓

隊友さつまへの広告掲載は、4月新聞に3件、7月新聞に3件、10月新聞2件、1月新聞3件と鹿児島地区協議会・国分支部・薩摩川内支部、入来支部が協力した。広告紙頒布は、7件(キューデン・グッドライフ×2、鹿児島九州リオン株式会社×2、丸大ハム×2、象印)を、各月新聞に折り込み配布した。

3 28年度会勢状況及び主要事業実績

別紙第4 会勢状況

別紙第5 主要事業実績(公益事業実績集計表)

熊本地震義援金募集状況

				2016/6/30現在		
番号	支部等名	募金者数(口数)		義援金額	備 考	
1	鹿児島地区協議会	147	(285口)	285,000		
2	国 分	320	(395口)	395,000	特別会員×2名を含む	
3	隼 人	-	(100口)	100,000	支部一同による基金	
4	始 良	-	(100口)	100,000	支部一同による基金	
5	薩摩川内	36	(45口)	45,000		
6	伊 集 院	22	(22口)	22,000		
7	南さつま	20	(30口)	30,000		
8	金 峰	5	(15口)	15,000		
9	枕 崎	7	(7口)	7,000		
10	知 覧	0	(0口)	0		
11	樋 脇	7	(7口)	7,000		
12	入 来	13	(13口)	13,000		
13	さ つ ま	-	(18口)	18,000	支部一同による基金	
14	伊 佐	26	(35口)	35,000		
15	加 治 木	27	(27口)	27,000		
16	大 崎	11	(11口)	11,000		
17	志 布 志	-	(28口)	28,000	支部一同による基金	
18	垂 水	14	(14口)	14,000		
19	錦 江	2	(4口)	4,000		
20	西 之 表	0	(0口)	0		
21	名 瀬	0	(0口)	0		
22	徳 之 島	19	(19口)	19,000		
23	瀬 戸 内	0	(0口)	0		
24	出 水	10	(10口)	10,000	6月29日報告	
25	知 名	0	(0口)	0		
26	いちき串木野	21	(21口)	21,000		
27	指 宿	4	(4口)	4,000		
28	中 種 子	16	(16口)	16,000		
29	日 吉	10	(12口)	12,000		
30	直 県 納 会 員 部	鹿屋(海)	20	(36口)	36,000	
		鹿屋(陸空)	25	(46口)	46,000	
		その他	44	(85口)	85,000	
		小計	89	(167口)	167,000	
義援金額総計		826名+α	(1,405口)	1,405,000	支部一同×4個支部	

熊本地震義援金本部報告状況

2016年7月12日

鹿児島県隊友会

項目	人員・金額	備考
1 拠出会員数	830人 + 4支部	
2 拠出金額	1,405,000円	
3 募金に係る必要経費		
払込手数料	14,570円	
通信運搬費	21,824円	<各支部への調査依頼> 通信費:2964円 <ボランティア活動交通費:5月25日> 高速代:4420円、7960円、6480円
印刷費	5,175円	インク・コピー用紙、トナー
消耗品費	29,293円	<ボランティア活動(5月25日)> ガソリン代:3475円、2528円、1290円 慰問品:焼酎隊友10本 22000円
計	1,334,138円	1334138

会 勢 等 状 況 エクセル入力用

鹿児島県 陸友会

1 会 勢 状 況

区 分			人 員 数					
			年 会 員		終 身 会 員		計	
前年度末正会員数			A		1092名	801名	1893名	
異 動	本部経由即日入会		B		40名	4名	44名	
	県隊友会取扱	入会者	C		28名	0名	28名	
		退会者	D		83名	(10)	21名	(14)
年度末正会員数			(A+B+C-D)		1077名	784名	1861名	
			(a+b+c-d)		1077名	784名	1861名	
年度末正会員出身別内訳			陸 上		a	740名	651名	1391名
			海 上		b	270名	82名	352名
			航 空		c	58名	44名	102名
			その他		d	9名	7名	16名

※ C欄入会者に他県隊友会からの転入者を含む。

※上表D欄、()は死亡会員内数

D欄退会者に他県隊友会への転出者を含む。

年度末女性会員数			14	名
年度末予備自衛官等会員数			218	名
	即 応		7	名
	予備自衛官補		1	名
年度末特別会員数	個人会員	一 般	50	件
		家 族	103	件
	法人等会員		0	件

2 年会費等徴収状況

	正 会 員				特別会員	
	年 会 費 (年会員のみに)	寄 付 金				寄 付 金 (会費を除く)
		終身会員から		年会員から		
県隊友会本部	94 名	37 件	0 件	0 件	0 件	
県隊友会支部等	763 名	299 件	0 件	0 件	0 件	
計	857 名	336 件	0 件	0 件	0 件	

3 支部組織状況

	支部数	備 考 (駐域支部は支部名を記入)
地域支部	35 ヶ支部	
駐域支部	0 ヶ支部	

主要事業実績(公益事業実績集計表) その1

鹿児島県防友会

事業名		業績			備 考		
大項目	中項目	小項目(実施事業の内容)	回数	人員		時間	
防衛・防災施設及び自衛隊諸業務等に対する協力・支援並びに地域社会に寄与する事業	緊急時等における自治体に対する協力	1 防災ボランティア活動	15	20	136		
		2 県・市等の防災訓練等への参加	19	76	598		
		小 計		96	734		
		国家・自治体等が行う諸行事に対する協力	3 県民体育大会等協力		16	84	
			4 高等学校等陸上競技大会等の支援		4	32	
			5 北方領土返還要求街頭活動		2	4	
			6 防犯パトロール活動		22	627	
	7 追悼式会場案内等支援活動			3	6		
	小 計			47	753		
	自衛隊に対する協力	行務等の協力	8 災害派遣部隊の激励	2	4	6	
		平常の隊務運営に協力	9 創立記念行事等への協力	30	132	368	
			10 部隊の訓練等の激励	36	177	473	
			11 PFC等派遣部隊への激励	5	10	34	
			12 業務等協力・支援(新隊員激励等含む)		117	275	情報提供 8 去 (内入隊者数 2 去)
			13 就学奨励協力(情報提供等)		7	10	情報提供 1 去 (内就学決定数 1 去)
		その他	14 資料館案内協力		0	0	
	15 駐屯地等の清掃協力		14	42			
	小 計		461	1208			
	地域社会の健全な発展に対する協力	青少年の育成に対する協力	16 スポーツ等の指導等		9	1142	
			17 交通安全指導・登下校時の監視		46	1215	
			18 地域子供会等の行事等への協力		18	396	
		環境保護に対する協力	19 公園等の清掃		232	657	
			20 児童通学路等の整備作業		23	85	
			21 野放等への支援		1	4	
		要介護者に対する協力	22 障害者運動会等の支援		11	86	
			23 介護移送等支援		1	4	
			24 老人ホーム等の訪問		5	54	
			25 例大祭支援(地域文化の伝承)		20	88	
その他	26 地域観光活動支援		2	24			
小 計		368	3755				
予備自衛官等に対する協力	27 予備自衛官等招集訓練激励	10	31	57			
	28 予備自衛官等に対する集約等	2	3	6			
	小 計		34	63			
計			1006	6513			

主要事業実績(公益事業実績集計表) その2

				鹿児島県隊友会		
事業名			業績			備 考
大項目	中項目	小項目(実施事業の内容)	回数	人員	時間	
防衛意識の普及高揚を図ることとを目的とする事業	防衛講演会の開催	29 本部助成分	0	0	0	①実施日時_____
		30 本部助成分を除く	8	579	732	②場 所_____
		小 計		579	732	③聴衆者数_____
防衛に関する諸問題の調査研究に関する事業		31		0	0	
		小 計		0	0	
計				579	732	
防衛自衛隊員及び戦没者等の慰霊顕彰・援助事業	防衛自衛隊員及び戦没者等の慰霊顕彰	32 瀬国神社における防衛自衛隊員の慰霊祭主催	1	22	88	①実施日時 28.10.8 ②場 所 県護国神社 ③参加者数 68 名 (遺族 32名、官側8名、隊友会 24名、他6名) ④殉職隊員合祀数 111 (3)柱 ():本年合祀者数
		33 防衛自衛隊員の追悼式	4	25	79	
		34 戦没者等の慰霊祭(参列・支援)	25	123	317	
		35 瀬国神社等の清掃		6	12	
	遺族援助	36 戦没者慰霊碑等の清掃		177	452	
		37 遺族会議協力支援		0	0	
		38 訪問慰問等		4	4	
		計		357	952	
その他	39 その他		0	0		
合 計				1942	8197	
会員の相互扶助及び親睦を図る事業	40 各種親睦行事	31	836			
隊友紙の配付	41 2月隊友紙の配付数				郵送料 250 紙 会員による直接配付数 1,750 紙	
会議	42 総会		151		実施日 28.5.22	
	43 理事役会	7(2)			※():支隊長等会議 内数	